

解剖学特別講義

科目ナンバー 7B237
基礎分野 必修 1単位

清水 一彦

1. 授業の概要(ねらい)

1・2年次に学修した解剖学を総復習し、国家試験に対応できる能力を身につけることを目標とします。解剖学特別講義は解剖学を不得意とする学生のための授業です。

授業は、演習問題と解説講義にておこないます。

国家試験は1、2年次に使用した解剖学の教科書を中心に出题されます。国家試験過去問題など演習問題に取り組み、国家試験出題傾向を修得すると共に弱点を洗いだし学びます。教科書の内容を総復習し、確実に理解します。国家試験出題率の高い部分や弱点については、その場で学ぶなど、国家試験に向けできる限り漏れのない解剖学の総括を行います。また、授業時の質問に対してグループディスカッションを行い答えてもらいます。

この授業ではDPIに関する知識を修得します。

2. 授業の到達目標

- ① 運動器の基本問題を解決することができる。
- ② 循環器の基本問題を解決することができる。
- ③ 内臓の基本問題を解決することができる。
- ④ 内分泌器の基本問題を解決することができる。
- ⑤ 神経系の基本問題を解決することができる。
- ⑥ 感覚器の基本問題を解決することができる。

3. 成績評価の方法および基準

全範囲の定期試験(90%)に平常点(講義内演習等)(10%)を加え、総合的に評価して最終成績とします。

4. 教科書・参考文献

教科書

岸清、石塚寛編 全国柔道整復学校協会監修教科書『解剖学』 2版 医歯薬出版株式会社

5. 準備学修の内容

予備学習として該当項目の教科書の復習を行ない、特に理解度の低い項目をチェックしておくようにして下さい。およそ予習に1.5時間、課題と問題解答の復習に1.5時間を見込んでいます。

6. その他履修上の注意事項

必ず手書きのノートを作成してください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | 脊 柱
準備学修:教科書(p28~33)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。 |
| 【第2回】 | 胸 郭
準備学修:教科書(p33~36)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。 |
| 【第3回】 | 上肢骨と関節
準備学修:教科書(p36~46)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。 |
| 【第4回】 | 下肢骨と関節
準備学修:教科書(p46~59)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。 |
| 【第5回】 | 頭 蓋
準備学修:教科書(p59~70)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。 |
| 【第6回】 | 頭部の筋
準備学修:教科書(p76~78)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。 |
| 【第7回】 | 胸部の筋
準備学修:教科書(p81~84)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。 |
| 【第8回】 | 頸部の筋
準備学修:教科書(p78~81)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。 |
| 【第9回】 | 腹部の筋
準備学修:教科書(p85~88,201)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。 |
| 【第10回】 | 背部の筋
準備学修:教科書(p88~92)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。 |
| 【第11回】 | 上肢の筋 1:上肢帯の筋、上腕の筋
準備学修:教科書(p92~97)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。 |
| 【第12回】 | 上肢の筋 2:前腕の筋、手の筋
準備学修:教科書(p97~107)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。 |
| 【第13回】 | 下肢の筋 1:下肢帯の筋、大腿の筋
準備学修:教科書(p107~114)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。 |
| 【第14回】 | 下肢の筋 2:下腿の筋、足の筋
準備学修:教科書(p114~122)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。 |
| 【第15回】 | テスト、まとめ
準備学修:全項目のまとめを行い、疑問点を解決するように取り組んでください。 |